

中央大学 2025 年度特別入試 【出題の意図】

学部・試験方式	法学部 編入学試験
科目	法学 - 法律学の基礎に関する論述試験

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

【出題の意図】

日本の司法制度における国民の司法参加(裁判員制度等)につき、単に概略を理解しているだけにとどまらず、なぜその様な制度が設けられているのか、どのような点に問題を抱えているか等、総合的に当該制度を理解し、説明する能力を身に付けているかどうかを確認することにより、編入学した際、専門的な講義等にスムーズについて行けるだけの能力を有しているかどうかを計ることが出題の意図である。

中央大学 2025 年度特別入試 【出題の意図】

学部・試験方式	法学部 編入学試験
科目	英語

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

【出題の意図】

設問 I.

ある程度抽象的な内容を扱う文章読解に必要な英語の文法知識と語彙力を問う問題。下線部の英文の構造を正しく理解し、その内容を、文章全体の流れに沿って、日本語でわかりやすく表現することができるかどうかを評価する。内容は、自由意志という、ある程度抽象的ながら身近な問題でもある話題を取り上げ、大学教育での素地としての理解力を問うものとした。

設問 II.

英語の文章を読みその要点を把握することができるかどうか、また、英語の基本的な文法・語彙の知識を適切に用いて発信することができるかを問う。内容は、若者の投票率の低さに関するものであり、参政権や民主主義の仕組みへの関心を問うものとした。

問1 文章の正しい内容理解に基づいて要点を把握し、それを論理的に説明できるかどうか、その際に自らのことばを用いて（＝パラフレーズのスキル）行うことができるかどうかを評価する。

問2 和文英訳においては、基本的な語彙や動詞型、コロケーションの知識があるかどうか、そしてそれらを用いて英語の文を正しく構築できるかどうかを評価する。